令和7年度

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

COMPASS 発達支援センター高知 .Jr

討議日：令和7年10月17日
公表日：令和8年 3月 5日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		玄関前に段差はありますが、室内はバリアフリー化されております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		学習終了後にその都度、使用した机や椅子の消毒を徹底しております。常に換気をおこない、児童の安全・安心に配慮しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		必要に応じてパーテーション等を活用し、落ち着いて過ごせる個別のスペースを確保できるよう配慮しております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		その日勤務の職員が揃う時間に業務連絡、療育内容の確認など話し合いの場を設けております。また月1回リフレクション会議を実施し、支援の改善点、療育の計画などすべて職員が情報を共有できるように図っております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		アンケート内容をまとめて全職員で話し合いを行い、改善に繋げられるようにしております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		その都度、職員間でのやり取りや引継ぎを行い、その内容を業務改善に繋げられるようにしております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		事業所内外の研修に参加し、意見交換等を通して職員の資質の向上に努めております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		公式Webサイトにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		定期的にアセスメントをおこない、児童の状況や保護者様のニーズを踏まえたうえで、客観的な視点で個別支援計画を作成しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		支援計画の更新ごとに職員間で会議を行い、共通理解ができるようにしております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	7		全職員で計画案を把握し、日々の療育での児童の変化なども伝え合い、その児童に合った支援を行えるようにしております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		標準化されたアセスメントツールを活用し、児童一人ひとりの状況を把握しております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		児童発達支援管理責任者が中心となって児童の現状に合った支援計画を作成し、その都度見直しを行っております。また関係機関との連携を図り、児童の現状と今後の課題に沿った計画を作成しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		児発管にアドバイスをもらいながら、個々の課題を職員間で話し合い、チームで立案しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		基本となる活動は習慣化しながら、時に変化を持たせ、飽きることがないよう工夫しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		児発管の支援計画を基に、個々の能力向上を目指す個別活動と、他者との関わりを持つことで社会適応能力向上を目指す集団活動を組み合わせて計画を作成しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		工程表や職員用の連絡ノートを作成し、当日の流れや役割分担などについて共有しております。前日までの経過記録で確認した情報を踏まえ、児発管と話し合い、支援に役立てております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	7		支援終了後に当日の様子や支援の結果を振り返り、気付いた点や課題を職員間で共有し、次回の支援に活かせるよう努めております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		支援内容やその日の体調等を記録し、気になったことは職員間で周知したり、ミーティングノートを活用して支援の改善や検証に取り組んでおります。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的にモニタリングを行い、児童の状況、保護者様のご意向を踏まえて計画の見直し、作成を行っております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7		ガイドラインを遵守し、児童一人ひとりの状況や保護者様のご意向に応じながら、総則の基本活動を適切に組み合わせて支援をおこなっております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		利用児童の意見や思いも受け止めつつ、必要な助言を行い、自分自身で考える力を育てる支援を行っております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		担当者会には、児童の状況を一番把握して いる児童発達支援管理責任者が参画しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		担当者会への参加や園や学校への送迎の際に、担当者と連携が取れる体制を整えております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		保護者様から学校行事や下校時間の変更を教えていただいたり、学校の先生よりスケジュール表をいただいたりすることで、情報共有をおこなっております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		その児童に必要な支援を話し合い、安心して移行できるようにしております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		7	該当する児童がいないため、今年度は行っておりません。	今後、該当する児童が通所する場合には、適切に対応するべく準備をしてまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。		7	担当者会への参加や相談員との電話でのやり取り等を行う機会を設けております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		7	今年度は放課後児童クラブや児童館との交流、地域の中で他の児童と活動する機会はありませんでした。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		7	今年度は参加はできておりません。	今後は積極的に参加できるように努めてまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		7	サービス提供記録や送迎時の面談を通して保護者様と情報交換を行い、個々の児童の成長度合い、課題について共通理解しております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		ペアレントトレーニングという規定の形式ではありませんが、個々の相談に応じ、できる限りのアドバイスを行っております。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時、あるいは保護者様のご要望があれば、その都度児発管や管理者が分かりやすくご説明しております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		モニタリングの際に、保護者様のご意向をお聞きしたり、日々のやり取りを通じて確認する機会を設けております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	7		保護者様にも分かりやすく、丁寧な説明を心がけております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		サービス提供記録や送迎時の面談、電話連絡等を通して、お悩みやご要望をおうかがいし、必要に応じて助言や支援をおこなっております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		7	今年度は父母の会を開催する機会を持つことができませんでした。	保護者会等の開催につきましては、保護者様の意見を伺い、交流の機会を検討してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情窓口と責任者を配置し、玄関には意見箱を設置しております。ご意見は全職員間で話し合い、解決に向け迅速に対応しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		公式Webサイトのブログにて、事業所の活動や児童の成長の様子をお伝えしております。年4回の季刊誌に合わせ、事業所便りを作成、配布しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		児童の特性に合わせた伝達方法を行い、保護者様には分かりやすい言葉で丁寧な情報伝達を行っております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7	個人情報保護の観点から、地域交流の実施は慎重に判断しております。	今後も利用児童の安全を第一に考え、保護者様のご意向を確認しながら、可能な範囲での取組を検討してまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		保護者様にご覧いただけるように各種マニュアルは事業所に掲示し、事業所内で感染症や緊急時対応について周知し訓練を計画、実施しております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		隔月でさまざまな災害、不審者対応に備えた避難訓練を実施しております。避難袋の補充も定期的に行い、有事の際に備えております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		アセスメントの保護者様からの情報を把握し、対応できるように全職員に周知しております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		アセスメントシートに詳しい記載をお願いし、現物を確認していただいたうえでアレルギー表を作成し、誤飲誤食がないよう全職員が細心の注意を払って対応しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		毎月、事業所内外の点検や必要な研修や訓練を行い、支援を行っております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	7		契約時に避難場所の説明や災害時の対応をお伝えするようにしております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		事業所内外で起こった事例を記録し、定期的に振り返りを行い、情報共有しております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		外部研修への参加は限定的ですが、事業所内で研修をおこない、虐待防止について全職員で共有し理解を深めるよう努めております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		身体拘束は原則としておこないません。生命または身体を保護するためにやむを得ないと判断される場合には、事前に保護者様へ十分な説明をおこない承諾を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載し、組織的に判断のうえ対応してまいります。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体でおこなった自己評価です。